

歴史を火災から守ろう

第64回文化財防火デー

毎年1月26日の「文化財防火デー」に合わせて、町内の文化財所有者と大河原消防署、大河原町消防団の協力により防災訓練が行われています。

今年は1月21日に実施され、国指定重要文化財「鰐口」を所有する大高山神社と町指定文化財「阿弥陀如来坐像」を所有する吉祥山繁昌院で、火災発生を想定し、消防署員と消防団員が放水訓練を行いました。

町の貴重な文化財を後世まで残すためにも、町全体で防火と防災に対する意識を高めていくことが大切です。



▲真冬の空に、力強く美しい水の放射線が描かれました。



防災活動車が交付されました

昨年12月8日には、公益財団法人日本消防協会から防災活動車が大河原町消防団へ交付されました。

この車両は消防団活動への取り組みを支援するため、通常は防火広報などの消防団活動や行事に使用され、災害時は緊急車両として消火・救助資材等の搬送や現場活動に使用されます。町民の安心安全を守るため、消防団活動に有効的に活用してまいります。

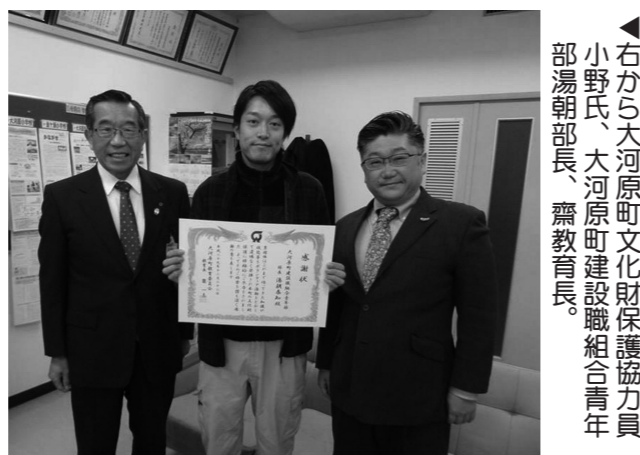
◀交付された防災活動車と右から大河原町消防団加藤副団長、加藤団長、山岸副団長、町管轄佐藤総務課長。

若い力で 地元の文化財に光を

大河原町建設職組合青年部へ感謝状贈呈

11月3日、大河原町建設職組合青年部がボランティアで町内新寺洞秀山にある照井太郎高直の墓の清掃・整備などを行いました。また昨年の桜まつり期間中には桜まつり会場に「照井太郎の紹介看板を設置（その後もちぶた館へ移設）」し、来場者へ町文化財の啓発活動を行いました。

これを受け、12月22日に町教育委員会齋教育長より、「大河原町の文化財保護・普及啓発に大きく貢献した」として、大河原町建設職組合青年部湯朝泰知部長へ感謝状が贈呈されました。



◀右から大河原町文化財保護協力員小野氏、大河原町建設職組合青年部湯朝部長、齋教育長。



▲照井太郎高直の墓を清掃・整備する大河原町建設職組合青年部の皆さん。

【照井太郎高直とは】

平安時代末、奥州藤原氏に仕えた武将。1189年の奥州合戦では、源頼朝率いる大軍を迎え撃ち、葦原山で壮絶な戦死を遂げた。大河原町はその合戦の戦場であった。照井太郎が戦死した場所には、地元民より寺が建てられ、その寺を照井太郎の法名「洞秀院」にちなんで「洞秀院」と名付け、現在の地名（新寺・洞秀山）の由来となった。

お正月のお楽しみ 駅前図書館「お正月の遊びとお話の会」

1月7日、オーガ2階イベントホールにて「お正月の遊びとお話の会（主催：駅前図書館）」が開催されました。初めのお話し会では、読み聞かせボランティアの皆さんによる紙芝居や絵本の読み聞かせ、手遊びなどが行われ、参加された親子の皆さんは楽しんでお話を聞いていました。

読み聞かせの後は会場にコマやけん玉、福笑い、すごろく、羽根つきなどの様々なお正月の遊び道具が用意され、子どもたちはお父さんお母さんと一緒に夢中で遊んでいました。



▶手遊びを一緒に楽しむお参加者の皆さん。



◀上手く顔が作れるかな？

風を受けて空高く 駅前商店会「第35回手作りたこあげ大会」



▲晴天にも恵まれ、絶好のたこあげ日和でした。

毎年恒例の駅前商店会主催の「手作りたこあげ大会」が1月7日、白石川右岸河川敷公園で開催されました。

当日の天気は快晴ということもあってか、昨年よりも参加者が増えたようで、会場は自作のたこを持った参加者でいっぱいになっていました。たこは白鳥の形をしたものや、アニメのキャラクターが描かれたものなど個性豊かでしたが、今年は成年ということで特に犬が描かれたたこを作られた参加者が多かったようでした。

会場ではたこあげ以外にカップラーメン食べ放題や餅つき大会も行われ、たこあげで体が冷えた参加者にとっても喜ばれていました。

皆で楽しむクリスマス コミュニティカフェ・リアン「スペシャルクリスマス」

12月25日、大河原町福祉センター内のコミュニティカフェ・リアンのオープンカフェ企画として、「スペシャルクリスマス（主催：大河原町社会福祉協議会）」が開催されました。

クリスマスの飾り付けがされた会場内には「お菓子すくい」や、「カップケーキ作り」などが用意されました。また、大河原中学校吹奏楽部によるアンサンブルコンサートではクリスマスにちなんだ曲が演奏され、会場を盛り上げてくれました。

来場された皆さんは子どもからお年寄りのかたまで、クリスマスの雰囲気を楽しんでくれたようでした。



▲クリスマスならではの曲を演奏して会場を盛り上げてくれた大河原中学校吹奏楽部の皆さん。